

「よいことにはよい」「ならぬものはならぬ」ときっぱり 提案し行動する山崎かずひろ市議

毎回質問・毎回報告続ける

議会には「政策の決定」と、「行財政をチェックする」という二つの使命があります。だからこそ市の

議員が議会でどんな発言する、なかでも一般質問を行うことは議員のもっとも大事な仕事です。

日本共産党の山崎かずひろ市議はこの4年間一度も欠かさず一般質問を行い、その結果と内容を「議会だより」のビラで報告してきました。また、水道料金の値上げには財源も示して、きっぱり反対してきました。



週3回の「おはよう宣伝」続けて6年

市民の願いが少しずつ実現

山崎市議の発言と市民の世論で、市民の願いが少しずつ実ってきました。

○国税の資産割の廃止で、1世帯年間約2700円の引き下げ。

○住宅・店舗リフォーム補助金制度の創設。(2年間に172件・2億9千万円の工事があり。市の補助額は1440万円)

○車いす用の市営住宅建設へ。

○障害者手帳を持たなくても、介護保険の要支援・要介護の人は所得税の障害者控除が受けられる。

○副市長が2人体制から1人に。合併時につくられた生月と大島の区長の廃止で税金のムダ遣いをなくす。

などなど



大村市の車いす用住宅を視察

安倍政権の暴走をストップさせよう

○消費税増税4月実施ストップ
消費税増税に賛成の人も反対の人も、来年4月からの8%増税をストップさせよう。

○原発ゼロへただちに
原発の再稼働は絶対ダメ。原発ゼロを決意し、自然エネルギーをどんどん広げよう。

○TPP (環太平洋経済協定) から撤退を
日本の食と農業と医療、平戸の経済を守ろう。

○憲法9条を守ろう
集団的自衛権の容認は、日本が戦争する国への道。9条をみんなで守ろう。